

# 第1章 只見線と電源開発

只見線と電源開発の歴史をたどろう



## 1 只見線について知ろう

### JR只見線とは



▲只見川第1橋りょう（三島町）

### 全長135.2kmのローカル線

福島県会津若松市にある「会津若松駅」と新潟県魚沼市にある「小出駅」を結ぶ全長135.2km、全36駅のローカル線です。只見線は四季を通じて、只見川や山々の美しい景色が楽しめるため、とても人気があります。



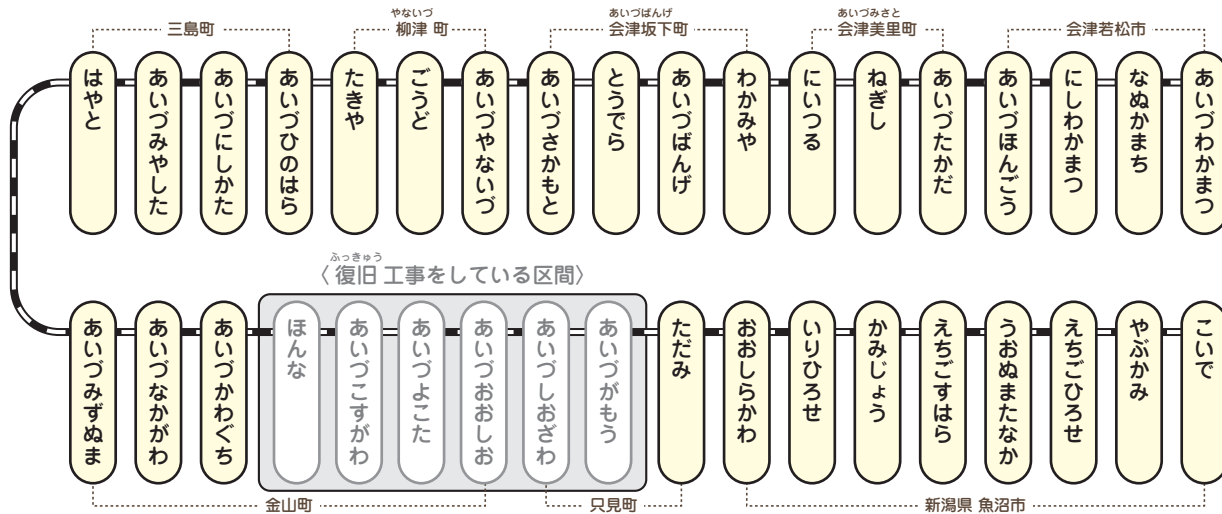
只見川第4橋りょう（金山町）▲

また、大自然と只見川にかかる橋りょう（鉄橋）と列車は、美しい風景を作り出すため、写真を撮影する方や、海外からの旅行者も多く訪れています。



只見線の列車は、電気じゃなくてディーゼル（軽油）で動くんだよ

### 只見線がつなぐ駅



## 2 只見線の歴史をたどろう

### 只見線の歴史と今



#### 只見線のはじまり

西暦 (和暦)	只見線の歴史
1926年 (大正15年)	「会津線」として、会津若松駅から会津坂下駅間 (21.6km) が開業。
1942年 (昭和17年)	「只見線」として新潟県小出駅から大白川駅間 (26.0km) が開業。
1957年 (昭和32年)	田子倉ダム (只見町) 建設の資材を輸送するための鉄道として、会津川口駅から只見駅間が開通。
1971年 (昭和46年)	8月29日、只見駅から大白川駅間 (20.8km) が開通。 会津若松駅から只見駅間を会津線から分離し、『只見線』に統合され、今の只見線の形である、会津若松駅から小出駅間135.2kmとなりました。



只見駅で只見線全線開通を祝う人々 ▲

只見線と会津線が統合され、現在の只見線の形になってから、地元を始め多くの人々に愛されてきました。

#### 豪雨災害からの復興



▲流された只見川第6橋りょう（金山町）

2011年（平成23年）7月、新潟・福島豪雨災害が発生し、只見川にかかる第5・6・7橋りょうが流され、会津川口駅と只見駅間が運行できなくなりました。現在は、代行バスによる輸送が続いています。

只見線は、地域の人々の生活や観光にとって大切な鉄道路線であるため、上下分離方式で復旧することが決定し、全線開通を目指し復旧工事が進められています。

上下分離方式とは  
福島県が駅舎や線路を管理し  
JRが列車を運行する  
方法だよ

